

問 氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局（学校教育課内） ☎0965-52-5859

氷川町には、すごい人、優しい人がいっぱい!!

今年度も県内外から、氷川町のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の取組を視察に来られました。氷川町のよさとして「人と人とのつながりを大切にした取組」、「熱心な地域人材の存在」をいつも褒めていただきます。改めて、地域の皆様の温かい支援にとっても感謝しています。保護者からも、「氷川町の子どもたちは幸せですね!」と感謝の言葉が届いています。

学校を取り巻く地域住民一人一人が、子どもたちにとっての大きな存在であり、子どもたちへの言葉かけの一言一言が、自信や勇気につながっていると感じています。



氷川町の仕組みを力説するCS委員
(熊大教職大学院の氷川中視察)



門松づくりに集う「お助け隊」
(宮原小学校門松づくり)



いつも優しく児童の下校を見守る方々
(竜北西部小下校見守り)

町ホームページにもコミュニティ・スクール活動を紹介しています。ぜひご覧ください ▶



地域学校協働本部だより

問 氷川町地域学校協働本部（生涯学習課内） ☎0965-52-5860

凛とした姿に未来を重ね・・・

氷川中3年生に受験体験を話してもらう「ようこそ先輩」に、高校生3人をつなぐコーディネートをしました。3人は氷川中の卒業生でそれぞれの高校で頑張ってくれています。

中学在学中のことや受験に向けて取り組んだこと、現在の高校生活での様子を踏まえながらエールを送ってくれました。受験を控え、真剣さとともに笑顔も見られた3年生でした。



筆先に気持ちを込めて

中学校では、国語の授業で八代小・中・特別支援学校書写展に向けて書初めに挑戦しています。学校の要請を受け、書初めの授業サポートへ地域の方々をつなぐコーディネートをしました。今年度は、竜北中・氷川中で計5日間にわたりアドバイスをいただきました。

生徒は時折質問をしながらも、筆を進める眼差しは真剣なものでした。普段、書に触れることの少ない生徒もいましたが、サポーターの方々の丁寧な指導に自信を持ち、筆を進め作品を仕上げました。



「夢をつかめ竜中生!」
SPTA親子講演会」
KCアカデミー代表の近藤義男さん(福岡ソフトバンクホークス近藤健介選手の父)を招き、親子講演会が行われました。「夢」をつかむため、自分を高めるためにはどんな思考が必要かなど、近藤選手が中学校からプロ野球の世界で活躍するまでのエピソードを交えながら、有意義な話を聞くことができました。
東京オリンピックの金メダルにも触れることができ、生徒は大興奮でした!

沖縄への修学旅行中は、ひめゆり平和祈念資料館での平和学習、読谷村での民泊体験など、どれも貴重な学びと体験になりました。そんな中、名所「万座毛」に隣接する建物にあったピアノを昼食後二人の生徒が弾き始め、だんだんと大きな合唱の輪になりました。生徒のきれいな歌声に、観光客や店員などは足を止め、歌に聴き入っていました。中には涙する人も。旅行先で特別な思い出となりました。

今年度、全校で「人権の花」運動に取り組んできましたが、12月13日にこれまで育てた花の種を町内の方々にお届けしました。そして、12月18日の終了式では、本校の取組に対して藤本町長から感謝状をいただきました。子どもたちは、花の種を大切に育てて、咲き終わった花から種を採取する活動を通して、思いやりの心や自分や身近な人の命を大切にすることを学ぶことができました。

12月12日、喫煙、飲酒、薬物の乱用防止への関心を高め、健康な生活を維持するための態度を身につけることを目的に、5・6年生に薬物乱用防止教室を行いました。当日は八代警察署からお越しいただき、薬物依存が与えるさまざまな影響や社会で引き起こす事象などをわかりやすくお話ししていただきました。また、薬物サンプルの紹介などを通じて、身近に危険があることを認識することができました。

12月9日に4人の打楽器演奏者を招いて、芸術鑑賞会を行いました。子どもたちは、数曲の演奏を通してさまざまな打楽器の演奏法や材料による音色の違いなどを教えてもらいました。また、一緒に演奏したり、校歌や毎月の歌を歌ったりもしました。
鑑賞後には、「4本のスティックを持ってマリンバを演奏するところがすごかったです」などの感想が聞かれ、全校で音楽を楽しみました。

竜北中学校

氷川中学校

竜北西部小学校

竜北東小学校

宮原小学校

沖縄への修学旅行中に
合唱!?

全校で取り組んだ
「人権の花」運動

薬物乱用は
「ダメ。ゼッタイ。」

芸術の魅力を満喫!